

国立公園の利用

国立公園は、自然を守るだけでなく、自然についての知識を深めたり、健康やレクリエーションのために、自然とふれあうところでもあります。

国立公園のすぐれた自然を利用して、毎年延べ3億もの人が登山やハイキング、自然観察などを行ない、自然とのふれあいを楽しんでいます。そのため、歩道や園地など、施設の整備もすすめられています。

自然とのふれあい方は人それぞれなので、さまざまな場面で自然とのふれあいの手助けをしています。



遊歩道の整備

自然とのふれあい

国立公園では、自然とのふれあい活動を助けるために、さまざまな取組みをしています。

●自然ふれあい活動

登山やハイキング、スキー、キャンプ、カヌー、シュノーケリング、バードウォッチングや自然観察など、経験や体力に応じて、自然とのふれあい方は様々です。国立公園では、歩道やキャンプ場など自然とのふれあいの場を整備し、みなさんに提供しています。



●ビジターセンター

国立公園の自然や歴史を知り、より深く自然とふれあえるように、国立公園の主たるところにはビジターセンターが作られています。ビジターセンターでは、展示やスライド・ビデオなどでその公園の紹介やガイドを行なっているほか、自然観察会やクラフト教室など、さまざまな行事が行なわれています。



那須高原ビジターセンター



シュノーケリングによる海中観察や自然解説

インターネットでアクセスしてみよう

国立公園の景色や自然は、国立公園ホームページ(<http://www.env.go.jp/park/>)で紹介しています。このページでは、それぞれの国立公園の最新ニュースや自然観察会などのイベント情報や動植物などの情報がわかります。さらに、国立公園の美しい風景の写真をダウンロードできたり、最新のライブ映像を見たり(※)することができます。国立公園ホームページにアクセスすれば、出かける前に情報を得たり、実際に行くことができなくても、それぞれの国立公園の特色や自然を知って、楽しむことができます。
※インターネット自然研究所(<http://www.sizenken.biodic.go.jp/>)へのリンクとなります。



国立公園ホームページ